

市民フォト

ふくしま夢つうしん



CONTENTS

特集

ふくしまの祭り…2

ふくしまの魅力人

JRA騎手

土田 真翔さん…6

インフォメーション

旬の宝石箱F-BOX… 8

ふくしまの祭り

福島市には、人々に愛され、受け継がれてきた勇壮な祭りや伝統行事が数多くあります。さまざまな祭り、行事に共通するのは、健やかな日々が連綿と続くようにという祈り、笑顔、元気です。ともに分かち合いましょう。



福島おちしまじり



松川町提灯祭り(松川町)



大波住吉神社の三匹獅子舞(大波)



岡山の水かけ祭り(岡島)



福島七夕まつり(ハセオ通り)



福島稲荷神社例大祭



飯坂けんか祭り(飯坂町)

魂揺さぶる「福島わらじまつり」 4年ぶり完全復活!!



令和5年8月4日(金)・5日(土)・6日(日)開催

ワッショイ! ワッショイ! 一緒に盛り上がるワッショイ!



「福島わらじまつり」は、令和元年の第50回を契機に、生演奏と生唄のわらじ音頭へとリニューアルを果たしました。さらに今夏は、わらじおどり、大わらじパレード、創作わらじパレード、大わらじ奉納など、新型コロナ前と同じ規模+αで開催。完全復活します。祭りにかける思い、見どころを小賀坂宏友さん（福島わらじまつり実行委員会「大わらじ座組」座長）に伺いました。ワッショイ! ワッショイ! 夏が弾けるわらじまつりで一緒に盛り上がりましょう!



昨年の「創作わらじパレード」。大いに盛り上げました。今年もこうご期待!
©福島わらじまつり実行委員会



福島わらじまつり実行委員会
大わらじ座組 座長
小賀坂 宏友 さん
福島わらじまつり実行委員会（福島商工会議所青年部・福島青年会議所・福島市商店街連合会青年部）の中にある剛脚会で編成している4つの座組の一つ、大わらじ担当「大わらじ座組」座長。ほかに踊りを担当する「舞座組」、太鼓を担当する「福響座組」、広報を担当する「広報座組」がある。

福島わらじまつりを運営する4つの座組

いよいよです。東北を代表する祭りの一つ「福島わらじまつり」が、完全復活します。今年の日程は、4日・5日が本まつり、6日は羽黒神社への大わらじ奉納となっています。本番に向け、わらじまつりを運営する4つの座組、大わらじ座組、舞座組、福響座組、広報座組は、すでに準備をスタートしています。例えば、踊りを担当する舞座組は、市内の小中学校や、祭りへの参加を予定している企業や団体様などから依頼を受けて、令和元年にリニューアルした踊

りの出前講習会を開催。太鼓担当の福響座組は、定期的集まり練習を続けています。また、町内の太鼓団体・個人の方にわらじ太鼓隊登録募集や、企業・団体に参加のご案内もしています。私たちは、「東北絆まつり」やイベントの応援など、一年を通して、コロナ禍も感染対策を徹底しながら活動を続けてきました。

2年前に生まれた新企画「創作わらじパレード」

大わらじ座組は、文字通り大わらじの係です。奉納していた古いわらじを麓に降ろし、御山敬神会の皆さんが待つ作業場に運んだり、パレードが安全に行われるよう仕切ったりなど、大わらじに関するあらゆることを担当します。2年前から「創作わらじパレード&作品展示」も始めました。これは、わらじまつりへの参加を希望している企業や団体に、自由な発想で「創作わらじ」を制作していただき、本祭りのパレードと一緒に祭りを盛り上げようという新企画です。きっかけは、わらじ祭りが始まった昭和45年頃にさかのぼります。市民や企業・団体様約4000人が参加した会場で、大わらじの周りを練り歩いていたのが、各町内

今年はフルバージョンで開催 完全復活版にこうご期待!

振り返ると第51回は中止。第52回は、オンラインによる開催。昨年の第53回は、感染拡大に配慮して大わらじの担ぎ手はマスク着用、踊りも1団体100人までと人数制限をしたのリアル開催でした。3年ぶりということもあって通常の感覚を取り戻すのに手間取ったり、参加を決めた団体様が辞退されたりするなど心労もありましたが、太鼓隊、舞い手、担ぎ手、沿道のお客様など、皆さんのはちきれそうな笑顔を見て、開催

できて本当に良かったと思えました。

長さ12メートル、幅1・4メートルの大わらじは、毎回50人で担ぎます。「ワッショイ!」の掛け声とともに練り歩き、わらじを上下させたり、大きく回転させたりという見せ場になると、みんなのお祭りボルテージも一気に上がります。あの熱気を味わうと何度でも見たくくなります。

今年は、フルバージョンに創作わらじを加えた完全復活版ですからね。会場も国道13号線を舞台に通常の「輪踊り」に戻ります。笛太鼓の生演奏と生唄による「わらじ音頭」と、両手に「わらのわ」を持って華やかに力強く踊る「わらじおどり」、そして大わらじと創作わらじのパレード、大わらじ奉納まで大いに期待してください。



創作わらじを8/7月~8/31木まで福島市街なか交流館（エスタビルB1F）で展示します
©福島わらじまつり実行委員会

Manato Tsuchida

2022年3月、騎手デビューを果たした土田真翔さん（19歳）。子どもの頃、家族で出かけ騎手になる夢を抱いた福島競馬場（福島市松浪町）は、東北で唯一の日本中央競馬会（JRA）競馬場です。今年4月、待望の初勝利を挙げたのも土田さんがユース時代を過ごした福島競馬場でした。騎手生活2年目に入った土田さんに、地元福島で初勝利を挙げた時の気持ち、数あるスポーツの中でも生きものに関わるスポーツの魅力、目指す騎手像などを伺いました。



騎手に憧れ、「乗馬スポーツ少年団」に入団。写真は小学6年生の頃

地元福島で、忘れられない特別な一勝



2023年4月16日福島競馬場、サノノヒーローに騎乗してJRA初勝利

騎手（所属：美浦・尾形和幸厩舎）

つちだ まなと 土田 真翔 さん

2004年2月17日生まれ。福島市出身。小学生の頃、福島競馬場で目の前をものすごいスピードで走る馬の上で、全力で追う騎手に憧れる。同競馬場で毎週末活動している「乗馬スポーツ少年団」に入団。難関の競馬学校を目指し、「Jドリーマーズ（現：JRAジュニアユース）」にも参加。2019年3月、福島市立岳陽中学校卒業。翌4月、JRA競馬学校騎手課程入学。同課程を修了後、さらに難関の2022年度新規騎手免許試験に合格。2年目で初勝利を挙げる。



デビュー2年目。一鞍一鞍を大事に騎乗して多くの方に信頼される騎手を目指す19歳



今夏は札幌競馬場。秋は福島競馬場で騎乗予定

騎手生活も2年目。メインは、もちろんレースで騎乗することですが、平日はどのように過ごされているのでしょうか。「トレーニングセンターの開場時間が、夏と冬で若干異なります。夏時間でざっくり言うと、起床は午前1時くらい。午前4時の開場前に所属厩舎に行って調教の準備をして、馬に乗り厩舎の周りを周回します。開場したら調教コースに入ります。騎手は、午後2時くらいから各自別行動になるので、僕はま

馬を取り巻くさまざまなドラマ そのすべてが魅力

小学6年生の時に騎手を目指した土田さんは、まさに初志貫徹の人です。15歳で体重、視力、識別力、聴力、健康状態のチェック。数学と一般教養の学科試験などを経て、千葉県にある難関のJRA競馬学校に入学しました。3年間、寮生活を送りながら馬術の基礎訓練や実践的訓練を受け、昨年騎手免許試験に合格。現在は、騎乗依頼を受け全国に10場あるJRA競馬場の夢舞台に立つ日々です。

生き物と関わるスポーツの魅力。土田さんは、「僕が目指すきっかけとなったレースの迫力もそうですし、馬には一頭一頭血統があつて、そうした歴史は馬を知る手がかりになります」と話します。「一頭の馬が競馬場で走れるようになるまでには、生産者、調教師、馬主、騎手と関わってくれた人たちのいろいろなドラマがあります。初勝利を共に勝ち取った『サノノヒーロー』は、前年の福島競馬場から長い間乗らせてもらって

いまして。馬主さんには、本当にたくさんの方々に感謝しありがとうございます。僕にとっては、そうしたすべてが原動力になっています」

地元・福島で挙げた初勝利 憧れのウイナーズサークル

土田真翔さんが初勝利を挙げたのは、2023年4月16日の第12レースです。その時の気持ちをこう話します。「デビューしてから一年ちょっと。未勝利というのもありましたので。地元福島で、しかも自分が所属している厩舎の馬ということで。忘れられない特別な一勝になりました。惜しいレースが続いていたこともあり「今度こそチャンスを逃したくない。なんとしてでも勝ちたい」という強い気持ちで臨んだとのこと。その日は、パドックでも、本馬場に入場してきた馬のウォーミングアップ「返し馬」でも雰囲気良く、これなら行けそうと思ったとのこと。「レースでは、馬のリズムを邪魔しないことを一番に考え、馬を信じてゴールを目指しました。一勝するのに苦労したので、努力し続けてきて本当に良かったと思いました」



ユース時代を過ごした福島競馬場で初勝利を挙げた土田騎手

ず、所属厩舎の作業を手伝います。自分自身のトレーニングは、午後5時くらいから。意識しているのが騎乗技術です。特に今は下半身を強めに鍛えています。目標とする騎手は、周りの方々からの信頼が厚い武豊騎手とのこと。同じレースで走ったこともあるそうです。素直で、若草のように爽やかな土田さん。今夏は札幌競馬場（北海道）、秋は福島競馬場で騎乗予定とのこと。勝ち星を一つでも多く挙げられるよう、みんなで全力で応援しましょう。

旬の宝石箱 F-BOX

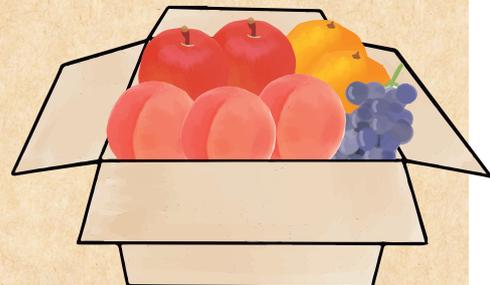
～ふくしまから旬を込めて～

全国の皆さん「くだもの宝石箱ふくしま市」自慢のくだものをお楽しみください！
このたび、福島市のくだものや野菜・6次化商品など、さまざまな商品を一度に楽しめる、アソートボックス「旬の宝石箱F-BOX」を作りました。

福島県外の量販店でも、くだものなどを詰め合わせてF-BOXを販売する予定です。
F-BOXを見掛けたら、お中元などでご親戚やご友人に贈ってみたいはいかがでしょうか。

もちろん、ご自宅用としてもお楽しみいただけます。ぜひこの機会に、ふくしまのくだものをご堪能ください。

☎ 農業振興課 ☎ 024-529-7663



▲贈答用3Kg箱



▲贈答用1Kg箱



▲一般用3Kg箱

F-BOX特設ページを開設いたしました！

F-BOXを使用した商品案内や販売店舗情報などを掲載しております。

詳しくはQRコードから▶



宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで購入できる！



宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

宝くじ公式サイト | Q

お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)

市民フォト・ふくしま夢つうしん

2023年7月1日発行

2023年7月号 No.53



福島市公式SNS



編集発行 福島市役所 広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎ 024-525-3710 ☎ 024-536-9828

E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページで！



📷 表紙紹介

熱気に包まれるまつり会場

3年ぶりに開催されたわらじまつり。大わらじが観客の前を通ると、担ぎ手と観客、全員の「ワッショイ！」の掛け声で会場は熱気に包まれます。歓声の中、大わらじが会場を練り歩く姿は必見です！

※次号は2023年10月発行予定です。